

市民と野党の共闘を前へ 日本共産党の躍進も 鈴鹿市演説会で井上氏

伊勢市、玉城町で台風被害調査 武田議員

党鈴鹿市委員会は23日、市内で「どうなる？どうする？日本の政治、日本共産党に市政・国政を聞く会」を開き、井上哲士参院議員が参加しました。井上氏のほか、中野武史県副委員長、石田秀三市議、市民連合すずか代表の山本あけみさんが弁士として参加しました。



井上氏は、総選挙での日本共産党の後退は残念だが、市民と野党の共闘を壊す逆流とたたかい、未来を

開いたと強調。「どんな難しい状況になってもこの道を進めていくのが私たちの決意。次は共闘をもっと前進させ、日本共産党も躍進していくたかたいを一緒に進めていきたい」と訴えました。

会場から、「総選挙で日本共産党の議席が減ったのはなぜか」「政助成金をもらったらどうか」「森友問題に対して、加計問題の追及が弱いのでは」などの質問も出され、井上氏は丁寧に答えました。

山本氏は、鈴鹿市を含む三重2区で野党共闘を成功させ、勝利した経験を語り、「野党共闘が大事だとし、当選させようと共産党の人たちは頑張ってもらった」と述べ、大きな拍手が起りました。

武田良介参院議員は29日、台風21号で大きな被害を受けた三重県伊勢市、玉城町で調査を行いました。本村伸子衆院議員と今月6日に行った調査に続くものです。

岡野恵美県議、谷中三好南部地区委員長が同行し、伊勢市の黒木騎代春、楠木宏彦両市議、玉城町の中西友子町議が案内しました。

伊勢湾漁協の有滝支所では、のりやアサリの養殖場が、漂着ゴミでまともに養殖できなくなっている状況などを聞き取りました。

その後、宇治山田駅が浸水した原因にもなった勢田川のJR架橋周辺を視察、さらに、床上浸水したお宅では現在の生活の苦労などを聞きました。

玉城町では、町役場で小林副町長、中村総務課長から当日の避難誘導の問題やこれまでの被災者への支援状況、県や国への要望を聞きました。



また、武田氏は氾濫した外城田川も調査。浸水被害を受けた店や個人宅も訪問し、現状や要望を聞きました。

若者と政治の距離を近づける 居酒屋 ivote に本村議員参加



本村伸子衆院議員は26日、学生団体「ivote 愛知」が名古屋市内で開いた「居酒屋 ivote2017」に参加し、学生たちと討論しました。同団体は不偏不党で「若者の投票率向上」を目標に若者と政治の距離を近づける活動をしています。本村氏のほか、自民党系、民進党、日本維新の会、減税日本、無所属の国会議員や地方議員が参加しました。

本村氏は、比例東海ブロック21人のなかで、唯一の女性議員であり、被爆2世として戦争、核兵器、貧困をなくしたいと政治に携わっていると自己紹介しました。

若者からは「以前の企画に

参加し、議員も普通の同じ人間だと思っただけで、社会人になったばかりの奨学金の

返済が始まった。月二万円返済は正直つらい」「いろいろ調べて9条は変えなくてもいいと思う」「女性とキャリア形成のことを学んでいます。女性議員の苦労がありますか」などの様々な意見が出されました。

議員はテーブルを順番に回り、本村氏は各テーブルで、若者が知らない間に改憲されたということにならないように関心を持って呼びかけました。

——総選挙での市民と野党の共闘を振り返り、さらに前進させようという集会在各地で開かれています——

名古屋市内で25日、「愛知4区こっち向いて政治して！市民集会」が開かれました。「野党は共闘！市民アクション愛知4区」と「市民と野党をつなぐ会@愛知4区」が主催。共産党、社民党の代表も参加しました。

同区では野党共闘に向けた地道な活動を重ねてきましたが、野党統一候補に確認した民進党議員が、総選挙直前に希望の

党へ。このため、日本共産党の西田とし子氏が急ぎよ立候補を表明し、共闘候補として奮闘しました。

西田氏は「共闘の積み重ねがあったから立候補を決意できた」と発言。市民アクション共同代表でママの会の中澤和子さんは「仲間とのつながりができ、負けた気はしていません」と述べました。

市民アクションの見崎徳弘共同代表が「今後も勉強、対話を進め、3000万署名で安倍改憲を断念させよう」と呼びかけました。